

皆様からいただいた寄附は、次のような事業に使われています。

特定非営利活動法人ミルフィュー小児がんフロンティアーズ

【事業①】 入院中の支援活動

事業内容:①入院中の患児たちに、楽しいひと時を届ける。

心身ともに成長発達過程にある子どもたちへ及ぶ長期入院生活の影響を念頭におき、単に楽しいだけでなく、自分の病気の理解、周囲に対する感謝の気持ちなどを育むことで、将来の精神的/社会的自立へつなげることが目的。

EX.季節ごとのお祭り（母の日や父の日を祝う会・夏祭り・運動会・ハロウィーン・クリスマス会・年賀状作成・バレンタインデーチョコ作りなど）、また音楽会、映画会・アニマルセラピー・そのほか食育やお薬の勉強会など

②家族への支援

院内茶話会を開催し、同じ経験をした親として相談にのったり(復学・兄弟の問題・周囲への告知など)、不安や疑問を聞き取り医療側との仲介役となったりして、少しでも安定した精神状態で子どもと共に闘病ができるようにすることが目的。

・事業の対象者:入院患児・家族

ハロウィーン



チヂミ作り



アニマルセラピー



クッキー作り



【事業②】 治療終了後の支援活動

事業内容:①勉強会の開催

- ・小児がんについて学び、自分の受けた治療がどのようなものか理解する。
小児がん経験者として先を行く先輩たちの経験談から、自分の将来の道をどのように築くか考える機会とする。
- ・より良い将来のために必要な様々な情報（EX.食事や保険、その他）を提供する。
小児がんの場合、腫瘍そのものが治癒しても、後に治療による影響が現れることがあり、そのリスクは経年的に上がっていく。それ故、自分の受けた治療がどのようなものだったかを、本人がしっかり理解し治療の悪影響が出ないよう普段から健康管理をしっかりしようとする自立的な姿勢を育む支援を目的としている。

②茶話会・ハゼ釣り大会・キャンプの開催

家族同士、また小児がん経験者同士が、医療者を交え共にひと時を過ごすことで、日ごろの不安や喜びを共有でき、情報交換をする場としている。

③電話相談窓口

医療者に直接、伝えるほどでもない、ちょっと不安がある、相談相手がいないなど、治療後の生活上での問題について話し合う。医学的に問題がある懸念を持った場合は、医療者につなげる。

・事業の対象者:小児がん経験者・家族

勉強会



ハゼ釣り大会



キャンプ



キャンプ



【事業③】 社会啓発事業

事業内容:①公開講座の開催

小児がんは、成人がんとは好発部位、治癒率、予後、そして治療中や治療終了後の問題など大きく異なる。また二人に一人の発症とされる成人がんに対し、小児の場合、年間 2,000～2,500 人の発症と非常に少なく、社会的に正しい理解を得ることが容易でない。そのため、広く一般の方々を対象とした公開講座を開催し、小児がんについて知ってもらうことを目的としている。

②活動の内容を随時ホームページに掲載し、会員だけでなく広く社会の皆様への情報提供に努めるほか、会報誌発行やパンフレットを作成する。

【法人からのPR】

小児がんの治癒率は高く、多くの子どもたちが健康を取り戻し、社会の一員として立派に巣立っています。しかしながら診断後の治療には、1 年前後の入院生活を要し、その間のほとんどを家族と別れて過ごさねばなりません。それまで当たり前だった色々なことが入院中は非日常的となり、治療の副作用に苦しんだり、様々な制約を受ける毎日となります。このような生活が及ぼす成長発達過程にある子どもたちへの影響を念頭におき、悪影響を軽減すること、そして入院生活をより日常生活に近いものとし、その中で社会的な経験を積み上げ退院後の生活にスムーズに戻れるようにすること、これらを主眼点とし活動しています。さらに退院後の生活も、自ら健康管理を行えるよう、情報提供や、成人医療への移行など問題が起きた時の相談相手となり、子どもたちのより良い将来につなげる努力をしております。皆様方から頂くご寄付は、これらの活動を通し、小児がん経験者の一人一人の自立しようとする姿勢を育成するために使わせていただいております。これからも引き続きご支援のほど、どうかよろしく願い申し上げます。

認定 NPO 法人ミルフィーユ小児がんフロンティアーズ
理事長 井上富美子

【法人HP】

<http://www.millefeuille.or.jp/>